

丸山政男 まわやま まさお 評論家、ロシア文學者。明治二十二年十月一日東京生れ（一九〇一）。筆名丸山漢歌子。大正十三年東京外國語學校露語科卒。朝日新聞社入社、ソ聯特派員、論說委員を経て調査研究充實勤務。傍ら早稻田大學文學部講師となり、學内の日本ロシア文學會評議員を務めた。

著書に『新聞記者打明け話』（合著・大阪朝日新聞社整理部編、昭和二年四月十七日世界社）、『歐洲の運命』（重徳河水共著、昭和十九年六月二十五日高山書院）、『ソヴェートの印象』（昭和二十二年十一月二十八日羽田書店）、『モスクワ』（昭和二十四年五月十五日弘文堂）、『アテネ文庫』等。譯書に、『ワシレフスカヤ作『愛』（昭和二十六年一月二十五日青銅社）『廿世紀文藝叢書』等。